

## 第 2 回 江東区 緑の基本計画改定委員会 議事録

日 時	平成 30 年 12 月 20 日 (木) 10 : 00 ~ 12 : 00
場 所	江東区防災センター 3 階 土木部会議室
出席者	<p>〈改定委員会委員〉</p> <p>■学識経験者          島田正文 委員長 (日本大学 生物資源科学部 暮らしの生物学科特任教授)          柳井重人 副委員長 (千葉大学 大学院園芸学研究科准教授)          佐藤留美 副委員長 (特定非営利活動法人 NPO birth 事務局長)</p> <p>■区民代表          萩原かほる 委員 (江東区立小学校 PTA 連合会副会長)          梅谷真美 委員 (区民応募)          西島和 委員 (区民応募)</p> <p>■行政          押田文子 委員 (政策経営部長)          林英彦 委員 (環境清掃部長)          長尾潔 委員 (都市整備部長)          並木雅登 委員 (土木部長)          武越信昭 委員 (教育委員会事務局次長)</p> <p>※欠席：榎直倫 委員 (江東区立中学校 PTA 連合会副会長)</p> <p>〈事務局〉          管理課：石井課長、七條係長、八巻氏          河川公園課：大野課長、鈴木係長、大橋氏          PCKK：松延、谷、酒本</p>
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 次第</li> <li>• 資料 1 : 第 1 回改定委員会議事概要</li> <li>• 資料 2 : 江東区のみどりの現状と課題</li> <li>• 参考資料 1 : 江東区のみどりに関するアンケート調査結果</li> <li>• 参考資料 2 : CIG 区民サポーター会議からの意見</li> <li>• 参考資料 3 : 活動団体や事業者等へのヒアリング実施概要</li> <li>• 参考資料 4 : CIG ビジョンに基づく施策の進捗状況の把握</li> </ul> <p>【委員より情報提供資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 生物多様性シンポジウム 案内 (島田委員長より)</li> <li>• Green Connection TOKYO 2019 案内 (佐藤副委員長より)</li> </ul>
次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会挨拶</li> <li>2. 前回の委員会におけるご意見と対応</li> <li>3. 議題             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 江東区のみどりの現況と課題</li> </ol> </li> <li>4. その他</li> </ol>

## <議事概要>

### 1. 開会挨拶

- 委員長：次第をご覧いただければ分かる通り、本日の議題は江東区のみどりの現況と課題である。忌憚のない意見をお願いします。議題に入る前に、本日の傍聴に関して事務局より報告をお願いします。
- 事務局：傍聴者はいない。

### 2. 前回の委員会におけるご意見と対応

事務局から資料1に基づき、前回の委員会におけるご意見と対応について説明した。

#### 【議事録について】

- 委員：議事概要は要点がまとまっていて分かりやすいが、議事録をいただけると認識していた。議事録は作成されているのか。
- ⇒事務局：議事録の作成はしている。議事概要を公表することとしているが、議事録の公表については扱いを決めていない。
- ⇒委員：どういう議論の流れで誰が何を発言したかが分かるので、区民にとっては議事録の方が、興味があるのではないか。差支えなければ、議事録も同様に公表していただけるとよい。
- ⇒副委員長：他の自治体の委員会にも参加しているが、議事録に基づく発言等の確認はしているが、発言者の名前を公表しているかは自治体によって異なる。
- ⇒委員長：少なくとも改定委員会の委員には議事録を配布したほうがよいのではないか。江東区の審議会における議事録は公表しているか。
- ⇒事務局：委員会によって議事録の扱いは異なるが、公表する議事録では、誰の発言かは分からないようにしている。本委員会で議事録の扱いを決めていただければ、決定に沿った扱いをする。
- ⇒委員長：自治体によって議事録の扱いは異なるが、このような委員会の場合、江東区ではどのように扱っているか。
- ⇒委員：委員会によって扱いは異なるが、公表する場合には、事前に委員に自身の発言をご確認いただいた上で公表している。
- ⇒副委員長：感嘆詞などの不要な部分を省略した議事要録か、一字一句の発言を起こしたものか、どちらの整理とするか決めたほうが良い。個人的には議事要録で整理してもらった方がよい。
- ⇒副委員長：それでよい。
- ⇒委員：個人的には発言とともに名前が公表されても構わないが、他の委員はどうお考えか。
- ⇒副委員長：他の自治体において発言者も記載された議事録を公表していた例もあるが、そのことが原因で問題が起きたことはなかった。
- ⇒委員：一区民としては、議事録が公表されたとしても見ないと思う。どのような議論がされ、どのような内容となったか要点が分かればよいかと思う。
- ⇒委員：昨年度、総務課長であったときには各会議の議事要録が回覧されてきたが、委員の名前は記載されていなかった。「委員長」、「委員」などの区別が分かるようになっていけばよいのではないか。
- ⇒委員：環境審議会を所管しているが、議事要録としての公表資料はとりまとめている。
- ⇒委員長：各委員に事前に確認いただき整理した議事要録と、意見と対応表についてどちらも公

表し、閲覧する人にどちらか選んでもらえればよいのではないか。議事録は議事要録として整理することとする。発言者の記載については、リスクがあるのであれば、名前を伏せて整理するのが一般的かと思う。

⇒委員：それで構わないが、事前に確認する際には発言者の名前も記載してほしい。

⇒委員長：内部資料としては、発言者の名前を残し、公表資料として整理する際には名前を伏せることとする。第1回改定委員会の議事録はどうするか。

⇒事務局：第1回改定委員会の議事録は、今回の議事録とあわせて各委員に送付し、確認していただく。公表資料としては、名前を伏せて整理した議事要録と指摘事項と対応を整理した議事概要とする。

### 3. 議題

#### 1) 江東区のみどりの現況と課題

事務局から資料2に基づき、江東区のみどりの現況と課題について説明した。

##### 【みどりの8つの機能と6つの課題】

○委員長：2頁、改定計画におけるみどりの機能の捉え方として、現行計画の4分類から8分類に変えて検討していくことが提案されているが、8つの機能と7頁で整理されている6つの課題のつながりをどのように調整するか。この課題も改めて8つに分類されるのか。

⇒事務局：みどりの機能を8分類で捉え、特徴や問題点を整理した。課題を総合的に導き出すための検討項目の1つとして、みどりの機能を8分類で捉えている。

⇒委員長：課題の整理は、今後施策を整理する際に大きく影響するが、最終的には8つのみどりの機能との関連が重要になってくると感じた。

⇒副委員長：2頁と7頁、機能の分類と課題の関係性がどう整理されるかが分からない。8つの機能の視点で見たときの課題もあるかと思うが、それが7頁で示されているか。7頁の「みどりの機能からの考察」でざっくりとは書かれているが、今後計画を取りまとめていく段階では、8分類に基づくみどりの機能分析をすべきだと思う。防災・減災や健康・福祉の視点から課題を整理するとこうなるといった分析は、今後行うのか。

⇒事務局：2頁では、8つのみどりの機能の視点から、江東区の特徴と問題点をまとめている。例えば、子育て・教育については、食育や環境学習、こどもたちの健康づくりに特色がある反面、農体験ができるような環境がない、学校のビオトープや校庭の芝生管理の問題点など、みどりの機能に対する江東区の特徴と不足している問題点を整理している。

⇒副委員長：2頁でまとめたことが、7頁の「みどりの機能からの考察」に集約されているということか。

⇒事務局：その通りである。

##### 【みどりの機能と区民ニーズやCIG区民サポーター会議・区民団体からの意見との関係性】

○副委員長：全体としてよくまとまっているが、8つのみどりの機能と6つの課題の対応が分かりにくい。「江東区のみどりに関するアンケート結果」や「CIG 区民サポーター会議・区民団体からの意見」を見ると、8つの機能からご意見を出されているようにみえるが、そこでの意見が2頁の問題点に含まれていないように感じる。区民はみどりが増えることより、みどりとの関わりを増やしたいと感じていることが読み取れる。区民は、現行計画に基づく取組みがされてきた10

年間で不足していることを感じていると思う。そうした意見を8つの機能から見た問題点とリンクさせて整理できると、分かりやすくなるかと思う。例えば、学校との連携や高齢者と子どもとの交流などに対する意見があるが、2頁の「子育て・教育」を見ると、そうした問題点は反映されていないように感じる。また、「観光・賑わい」なども商業施設との連携などあるかと思う。区民の意見を踏まえた各機能の問題点として整理されていないと感じる。

#### 【現行計画の施策の進捗状況】

○委員：4頁、「現行計画の目標達成状況」が整理されているが、施策の積み重ねによる結果を数字として整理されているとすれば、どこが順調でどこが不調かといった各施策の進捗状況の評価をどのようにしているか説明してほしい。参考資料4を見ると、順調など記載があるが、個別の状況についても少し説明があるとよい。

⇒事務局：参考資料4でCIGビジョンに基づく施策の進捗状況として、計画に位置付けられている施策に関連して、どういった事業を進めてきたかをまとめている。ビジョンに記載されているものでも、区がやるべきか民間がやるべきかなど議論がされ、予算がつかなかったものもある。計画に位置付けたものの取組みがなされなかったなど、色々な要因がある。区が事業主体となる公園整備などは計画的に進めているが、それ以外の施策については着手できなかったものもあり、施策の目標達成に届かないといったこともある。

⇒委員：そうすると、7頁にあるように民間企業との連携が課題であるという認識でよいか。

⇒事務局：そうである。

#### 【みどりの機能解析】

○副委員長：2頁の内容がしっくりこない。どのように問題点を導き出したか。

⇒事務局：アンケートや各団体へのヒアリング、CIGサポーター会議での意見をまとめて整理している。

⇒副委員長：意見をまとめたただけなのか。専門的な観点から機能分析を行い、状況を図に整理する必要がある。今後、図上での機能解析を行うことを想定しているのか。

⇒事務局：今後、みどりの機能解析を行い図上に整理することは想定している。

⇒副委員長：今回の課題は、アンケート結果や各団体からの意見に基づき整理したという認識でよいか。

⇒事務局：現時点では不足があるかもしれないが、機能解析も意図して整理している。

○副委員長：2頁、7頁の内容に関係するが、ヒートアイランド現象の緩和について、現在の流れとしては、緩和策と適応策が基本になっている。例えば、適応策はクールスポットなどの施策になるかと思う。都市気候やヒートアイランドへの適応策はぜひ記載してほしい。随所に木陰等出ているので、適応策といった観点から整理してもらえるとよい。

⇒委員：現行の環境基本計画は来年度、中間見直しを考えている。気候変動適応法が施行されたことをうけ、適応策についてもその中で検討している。

○副委員長：防災の視点では、延焼防止をどう捉えているか。江東区は水路があり、水路に沿った緑化もされているので延焼防止としてのみどりの機能があるかと思うが、木造住宅密集地域でのみどりの役割などについても記載されるとよい。

⇒委員長：フィジカルな機能解析がきちんとされるとよい。

⇒事務局：機能解析については、同時並行で作業は進めているが今回の資料に書き込むまではできなかつた。今後計画を策定していく中で機能解析の結果を踏まえて整理していく。

## 【社会動向】

○副委員長：社会動向について、都市公園法の改正について記載されているが、都市緑地法の改正もされ、民間による市民緑地の整備を促す制度ができた。また、江東区には生産緑地がないが、都市農業振興基本法が成立し、国としては都市農業の振興に力を入れているので、農業施策についても触れてほしい。江東区内には農に取り組まれている民間の事業者さんもいる。都市公園だけでなく、市民緑地や都市農業も含めて、もう少し広い意味で、みどりを捉えられるとよい。また、近年グリーンインフラといった言葉が定着しつつある。緑の基本計画を策定していく中で考え方を示しているとよいかと思う。江東区環境基本計画、江東区都市計画マスタープランともに策定されたのは少し前になるため、グリーンインフラやSDGsの考え方は反映されていないかと思うので、計画改定に当たっては、考え方を連動させて整理できるとよいかと思う。

⇒委員長：この時代に策定する計画なので、今のご意見はごもっともかと思う。国土交通省ではグリーンインフラやSDGsの考え方がかなり求められている。

⇒委員：1頁にある長期計画、区全体を取りまとめる計画を担当している。今年度、現況と課題を整理した上で、平成31年度に、平成32年度から41年度にかけての10か年の基本計画を策定する予定である。みどりに関しては、区民の参画や会議体など多くあるので、意見として出ていると思う。長期計画の進行管理において外部評価を行っている。みどりに関しては、大きく2つ施策がある。それについては、平成22年からの10年間の取組みを評価している。その評価の内容と今回7頁で整理されている課題とに齟齬はないかと思う。委員の方には、外部評価の資料を見ていただいてもよいかと感じた。計画の策定スケジュールについて、長期計画では現況と課題、施策体系についても、今年度末に基本計画の素案を作成する予定である。どのタイミングで記載等を調整するか確認したい。また、みどりだけでなく区政全般に対してSDGsの考え方に即した計画づくりを求める意見は議会などでもあるが、長期計画の全体を見ると、達成状況として、評価を行うものさしは既に入れており、SDGsの17の目標については先行して盛り込んでいると答弁している。SDGsに触れるというよりは、どのように書き込んでいくか考えながら話を聞いていた。

⇒副委員長：緑被率、緑視率は量的な指標である。SDGsに含まれているのはもう少し質に関するもので視点が異なるかと思う。SDGsを指標にして企業は動き始めているが、そうした視点も必要かと思う。また、アンケートや各団体の意見を見ると区民としてもそうした方向性を求めているのかと思う。その上で、課題を見ると10年前とあまり変わらないように感じる。もう少し、質の視点にたった物差しを入れていくとよい。例えば、連携・協働が必要なのであれば、どれだけ協働できたかを指標にしてもよいかと思う。区民ニーズに答えていくような物差しが1つ課題としてあり、その解決のためにどうしていくかといったことが基本計画の施策として示されていると、非常に新しいかと思う。

⇒委員長：みどりの機能についても10年前の4つの機能でなく、多様化していると整理されている。同じような発想で、これからの社会情勢を考えたときに、緑の基本計画を策定する際にも、グリーンインフラやSDGsの意義などもしっかり捉え、それを前提として抑えておくことが必要であるというご意見かと思う。世の中がそのように動いているので、こうした視点を忘

れずにきちんと位置付けて、整理していく必要がある。例えば、「国の動向」として記載するとともに、いくつかの施策に反映されるとよい。

⇒事務局：社会動向については、今後計画書として整理する中で、いただいたご意見を反映していく。

⇒委員：環境基本計画を所管している。長期計画における環境分野の計画である。年に1度、環境白書を出しており、SDGsの内容の記事を掲載している。特に関連するヒートアイランド現象の緩和やエネルギー問題など、そうした施策については環境基本計画で整理している。緑の基本計画と重なる部分もあるかと思うが、それぞれの分野の中で問題意識を持って進めていければよいかと考えている。

⇒委員長：基本的には、環境基本計画は関連計画である。一般的には、緑の基本計画の中核については環境基本計画に位置付けられており、緑に関する方針が示されている。その上で緑の基本計画で具体的な内容を整理することになる。密接に係る計画であるので区で調整していただければと思う。

### 【子どもがみどりに触れられる環境】

○委員：子育て・教育に目が行くが、亀戸の香取小学校が改築されるにあたり現在更地になっている。ぜひ校庭を芝生化してもらいたいと思っていたが、結局ゴムチップで整備されることになった。校庭が芝生だと子どもにとっても良いかと思う。区には、田んぼの学校もあるが、こどもたちが農作業を体験し、土に触れる機会が増えるような環境になったらよいと感じている。こどもたちが係るみどりが増えていけるとよいと感じる。白河・亀戸、北砂では公園が不足しているとお話もあるが、公園が近くにあるとみどりが多い印象になる。少しでもみどりを増やしていただけると親としてありがたい。

⇒委員：芝生化は進めているが、全面芝生化はしておらず、一部を芝生化している。学校の改築などの際には、生徒の保護者の方とワークショップを行って整備の方針を決めている。少しでもみどりの多い学校になるように努力していく。また、環境教育は机上でのものはしているが、体験を含んだ環境教育の機会があまりない。今後そうしたプログラムを進めていきたい。

⇒委員：米作りなどは学校で行っているがバケツで栽培している状況である。そうした田んぼでの米作りができる環境があるとよい。

⇒副委員長：若洲公園で江東区内の30代の方にヒアリングをしたが、みどりに関連した体験ができる場所が少ないということだった。田んぼの学校はあるが、応募が多すぎて年間通じて深く関われないと聞いた。若洲公園は中でも、BBQなど体験できる場所がある。若洲公園内で農作業ができ、収穫したものや釣った魚でBBQをするなどできるようになるとよい。江東区は、一般的には自然が少ないという印象をもたれがちだが、実は資源が豊かである。公園の一部を菜園化するなどできるとよい。そうした支援を行うNPOや企業なども出てきており、江東区内にもある。そうした団体と連携して場をつくっていけるとよい。

⇒委員：田んぼの学校については、よい意見を聞かせていただき個人的には嬉しかった。区民農園というものがあるが、期間が1年間と限られ、泥棒などに来られても困るため、フェンスで囲っている状態で閉鎖的である。一方で、田んぼの学校で使っている田んぼは横十間川親水公園内にあるが公園の修景施設でもあるので開けている。そういう意味でも、できる場所があれば、個人的な考えではあるが、できれば整備をしていきたいと考えている。

### 【みどりに関心を持ってもらう工夫】

○委員：アンケート結果をみると、全体の傾向としてみどりに興味があり、やや年配の方が回答者の属性として多いかと思う。一方で、みどりに関心のない人に関心をもってもらうにはどうしたらよいか。関心をもってもらいみどりへの意見をもらえると、区民の求めるニーズと行政としての考えのすり合わせができるのかと思う。そのための工夫がスケジュールに反映できるとよい。パブコメ時にできる限り多くの人から意見をもらえるようにする工夫についても議論が必要かと思う。

### 【民有地の緑化】

○委員：公園整備や街路樹、緑道、水辺の樹木などいわゆる公共緑化は進めてきている。一方で、景観の指導をしていると民有地の緑化が大きな課題となっていると感じる。民間の開発にあたって、事業者の意識が計画に影響する。緑化基準を満たす面積の確保のみを考慮する事業者もあれば、生物多様性まで配慮する事業者など大きな差がある。そうした意味でも、協働が重要になってくるかと思う。公共緑化への予算は限られているので、今後のことを考えると、莫大な民有地の緑化をどうしていくかが考えていく必要があるかと思う。

○委員：現行計画に基づき、10年間公共施設の整備と公共緑化を進めてきた。しかし、民有地の緑化については、そもそも状況把握が十分にできていない。改定計画では、民有地の緑化と協働、質の向上に触れられるとよいかと考えている。

### 【CIGサポーター会議、CIG推進会議】

○委員：CIG 区民サポーター会議の構成メンバーは公表されているか。環境団体に所属している人の意見なのかなどの属性によってここで整理されている意見の意味合いが異なるかと思う。

⇒事務局：公募委員で構成している。区報で募集しているが、応募する方が少ないので、前年度に委員をしていただいた方に引き続きお願いしている。中には、みどり関連の団体に所属している人もいるが、区として特別に委員を選定しているわけではない。

⇒委員：何人くらいで構成されているか。

⇒事務局：9人で構成されている。

○委員：江東区 CIG 推進会議とはどういった団体か。

⇒事務局：区内の造園業者が主な構成メンバーである。民間の団体であり、区が関与しているわけではない。

### 【資料の事前送付】

○委員長：膨大な資料をまとめているので、読みこなすのも大変である。

⇒副委員長：事前送付していただきたい。

⇒事務局：事前に送付させていただいているが、今後は紙面で郵送した方がよいかどうか、本日も伺いたいと考えていた。

⇒委員：事前送付資料もデータではなく郵送していただきたい。送付いただいたデータを自宅で印刷すると縮小され読むのが大変である。

⇒事務局：事前送付資料は今後郵送させていただく。

⇒副委員長：差し替えがある場合は、該当頁のみ当日配布していただければよい。

#### 【まとめ】

○委員：本日の資料は各団体へのヒアリングとアンケート結果からまとめていると思う。例えばフィジカルな分析結果と結びつける、現状の施策と結びつけるなど意見をいただいたが、今後の計画の目標建てや施策の整理は宿題として、今日の意見をうまく反映してもらえるとよいものになるかと思う。また、今回の意見を踏まえて修正した資料が次回の資料となる。大変恐縮であるが、修正確認は私に一任させていただく。

#### 4. その他

○事務局：意見書を配布している。ご意見、ご質問あればそちらに記載していただき、12月27日までに提出してもらえればと思う。議事録はでき次第送付させていただく。また、次回の会議資料は開催日の1週間前に事前送付させていただく。なお、次回、第3回委員会は、平成31年2月26日（火）を予定している。

一以上